

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	05	11	104640	高村光太郎記念館企画展示事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	高村光太郎の紹介					
対象	市民、観光客					
意図	市民が地域の歴史や文化に触れることにより、郷土に誇りと愛着を持つようになる。観光客は、花巻の先人を理解することにより再訪への足がかりとなる。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○高村光太郎に関する企画展示						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
				○委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 企画展示の回数	回		計画	1	1	
			実績	1	1	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
① 郷土の歴史や文化に誇りや愛着を持っている	%		目標	67.2	67.2	
			実績	66.8	65.2	
② 入場者数	人		目標	15,000	15,000	
			実績	16,011	15,425	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
市民が先人顕彰施設を訪れ顕彰を深め、郷土の先人の功績について理解することにより、郷土に愛着がうまれているかその状況を示すものとして設定した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	先人の偉業を通じ市民へ郷土への誇りを醸成することは市として妥当である。
	○ 妥当である	
	見直し余地がある 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	展示内容の充実を図りことにより、入館者が増加すると判断した。
	○ 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	職員の直営で行えるものは対応するなど、最低限のコストを考慮している。簡易な事務については、非常勤職員で対応しているが専門知識を要する業務が多いのでこれ以上の削減はできない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	入館料を徴収し、受益者負担としており公平である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
高村光太郎の偉業を調査し広く市民へ紹介する機会を提供し、芸術家 高村光太郎も愛した郷土に目を向け、故郷の良さを再発見し愛着を持つように努めた。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-1	事業名
一般	10	05	11	104640	高村光太郎記念館企画展示事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		3,664	1,840		△ 1,824
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,664	1,840		△ 1,824

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

芸術文化の振興に努めます。

事業開始の背景・経緯

彫刻家であり詩人でもある高村光太郎は、あらゆる芸術家たちとの交流をもちながら、自らの才能を開花させていった著名な文化人である。その業績を知りたいという要望は県内外から多く寄せられている。企画展示により、より光太郎の偉業を多面的に深く知ることができる。

事業概要

○高村光太郎に関する企画展示

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

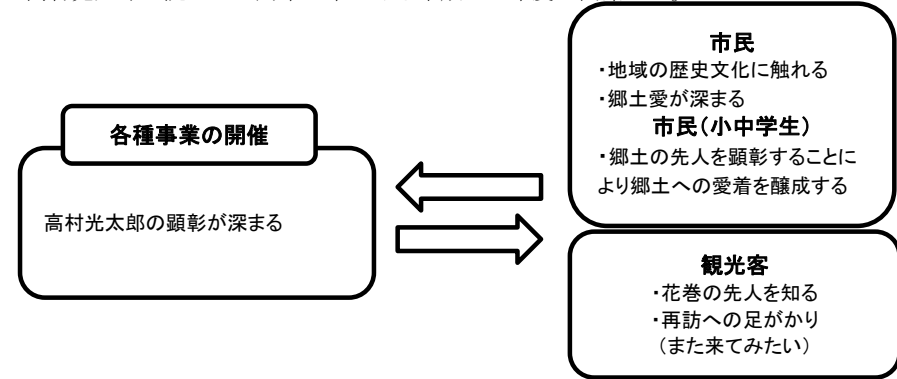
高村光太郎の顕彰を深め広く紹介できるよう関係機関と連携を図りながら資料収集に努める。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 生涯学習課 担当係長 前田佐和子 内線 418

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

旧歴史民俗資料館（S58建設）を高村光太郎記念館とし、公設民営として高村光太郎生誕130周年の年である平成25年度に開館した。



①高村光太郎記念館企画展 高村光太郎没後60周年「智恵子の紙絵」

光太郎が亡くなってから60周年になるにあたり、メモリアルイベントとなる企画展を開催。妻 高村智恵子の生誕130周年でもあることから、芸術家 光太郎に傑作と言わしめた智恵子晩年に遺した作「紙絵」を展示し二人の崇高な関係性を紹介した。

○開催時期 平成28年7月15日～11月23日

○委託先：一般財団法人 花巻高村光太郎記念会
高村光太郎記念館企画展示業務委託 1,800千円

- ・展示作品借用料 500
- ・展示打ち合わせ 50
- ・資料輸送費用 300
- ・展示設営および展示作業補助員 88
- ・照明器具 435
- ・パネル製作費 150
- 解説パネル
- ・広告等印刷費 140
- ポスター200枚 チラシ5,000枚
- ・雑費 4
- ・消費税 133

高村光太郎没後60周年記念講座 40千円

花巻で過ごした高村光太郎の足跡を探り深く光太郎を知る

- ・記念館見学、佐藤家（佐藤隆房宅：元花巻病院長）等
- 消耗品 20千円
- 通信運搬費 20千円